

## 解答

- 1 自分の幸せより集団の幸せを尊重し、集団の調和を保つために努力し、個人として目立たないようにする人。(49 字)
- 2 b
- 3 ①会社や工場が円滑に動くのを助ける。(17 字)  
 ②より秩序立った社会をつくり出す。(16 字)  
 ③混雑した大都市で仲良く暮らすのを助ける。(20 字)  
 ④大きな安心感と集団への帰属感を与える。(19 字)
- 4 集団の利益より個人の利益を優先すること。(20 字)
- 5 個人主義は西欧の宗教から育ち、政治と経済を含めた西欧の生活のあらゆる領域に普及した。
- 6 合衆国憲法は、政府は国民の同意とともに存在し、国民は特に政府に与えられてはいないすべての権利を保持することを宣言した。
- 7 c, d, h
- 8 日本では個人より集団が優先される。このことは多くの利点を持つ。日本では個人主義は自己中心的で望ましくないとされる。一方、西欧ではキリスト教に根源を持つ個人主義により、集団より個人が重視される。この考えは西欧の生活のすべての面に浸透している。

## 全訳

- ① 日本では、集団が個人よりも優先する。理想的な日本人というのは、自分自身の幸せより集団の幸せを尊重し、集団の調和を保つために懸命に努力し、個人として目立たないように努める人である。集団の圧力は、理想的な日本人に謙虚で勤勉であり、個人的な意見を言うことにはためらいを感じることを奨励する。「出るくぎは打たれる」という日本のことわざがある。
- ② このように集団の重要性を強調することは多くの利点を持つ。会社や工場が円滑に動くことを助けてくれる。このことはチームワークが絶対必要な、高度に工業化された社会では特に重要である。それはまた、より低い犯罪率やより少ない法廷での争いに反映されるように、より秩序立った社会を作り出してくれる。それは人々が混雑した大都会で仲良く暮らすのを助けてくれる。そしてそれは一人一人の日本人により大きな安心感と集団への帰属感を与えてくれる。
- ③ 日本では、個人主義とは集団の利益より個人の利益を優先することを意味する。これは自己中心的で望ましくないと考えられている。しかし、西欧では個人主義はそれとは異なる意味を持つ。おそらく西欧の個人主義は、神と人間は別個であり、一人一人の人間は独特にして重要な存在であるというキリスト教の信念に始まったのだろう。キリストは、神への愛と同胞である人間への愛は集団への忠誠心よりさらに根源的であると説いた。キリスト教徒は自分で自分の魂の救済を求めなくてはならないのだ。
- ④ こういうわけで、西欧の宗教は最初から個人を最も強く強調してきた。個人主義はこの（西欧の宗教という）種子から育ち、政治と経済を含めた西欧の生活のあらゆる領域に広がった。たとえば、民主主義は個人の重要性に基盤を置いている。200 年以上も前、合衆国憲法はおのおのの国民に言論、宗教、集会の自由を含めたいくつかの権利を保証した。合衆国憲法は、政府は国民の同意のもとに存在し、国民は特に政府に与えられてはいないすべての権利を保持することを宣言した。ほとんどの民主国家が持つ現在の憲法は、同じような条項を含んでいる。